

校訓 「正直 勤勉 愛語 進取」



笠野だより

笠野小学校だより 2月号

令和6年1月29日

Tel 288-8651 Fax 288-8652

e-mail: kasano-es@m2.spacelan.ne.jp

## 夢を叶えるために ～大谷翔平選手から学ぶ～

日本のすべての小学校に野球グローブ3つが届けられました。今や日本人やアメリカ人で知らない人はほとんどいないと思われる、メジャーリーグで大活躍する大谷翔平選手からの贈り物です。本校にも1月12日（金）に段ボール箱に入って届き、翌週の15日（月）に全校児童の前で開封式を行いました。超有名選手からのプレゼントに、児童のみならず、私も含めた教職員も興奮しました。辛く悲しい話題が多い新年の報道の中で、大谷選手からのプレゼントのニュースは、単にモノとしてのプレゼントだけではなく、私たちに夢や希望を与えてくれたような気がします。



さて、この大谷翔平選手について、私が知っていることのいくつかを紹介します。

※ネットでの情報も含まれるので本当のことかはわかりませんが・・・

- ・食事の管理が徹底している。（高たんぱく・低脂質、とんかつの衣をはがして食べる）
- ・睡眠時間をしっかりとる。（1日に10時間程度）
- ・睡眠時間確保のために、WBCチームメイトのヌートバー選手からの食事の誘いを断った。
- ・久しぶりに帰った日本で、友達との食事の約束を野球の練習のために断った。

小学生の頃から、常に野球のことを考え、上を目指していたということです。そして、野球の上達のためには何が必要かを第一に考え、徹底して実践し、メジャーリーガーとして大スターとなった今もその姿勢が変わらないことに頭が下がります。夢を叶えるためには、自分のやりたいことも犠牲にして、徹底してやり抜く意志と力が必要なのでしょう。

私がサッカーで指導に関わった子の中に、後にオリンピックで活躍した選手がいます。小学生のときに選抜チームにいたその子は、遠征先で夕食後に他のチームメイトが楽しそうに騒いで遊んでいる片隅で、一人黙々とスパイクを磨き、手入れをしていました。きっと、良いプレーをするために今何をすべきかを考えて行動していたのでしょう。当時の私は、「この子は将来きっとすごい選手になる」と思っていました。大谷選手の話と重なりますね。

小さな目標や夢でも構いません。達成したいことに向けて、他にやりたいことがあっても我慢して頑張ってみませんか。良い結果が待っているかもしれませんよ。

校長 辰巳 勝

**2月の生活目標 「笠野っ子のよさをほめよう」**

**2月の保健目標 「心の健康について考えよう」**



# お知らせ

本校ホームページを  
ご覧いただけます→



## 継続こそ力なり

～津幡町英語スピーチコンテストより～

1月20日（土）に開催された町英語スピーチコンテストにおいて本校の児童がスピーチ小学生部門6年生の部で最優秀賞に輝きました。

「継続こそ力なり」は、英語スピーチコンテストの開会式で、吉田克也教育長が仰った言葉です。「継続は力なり」という言葉がありますが、「継続こそ力なり」は「続けることこそが力をつけるための最善の方法」という意味であると解釈しました。

本校から参加した4名の児童には、正にこの言葉がぴったりと当てはまると思いました。コンテストの1週間前から毎日帰りに職員室でスピーチを披露してもらい、聞いた職員がアドバイスをしていました。4人とも翌日には、しっかりとレベルを上げたスピーチを聞かせてくれました。家でも相当練習していたと思います。最初はややぎこちなかったのですが、どんどんと流暢に、そして自然なスピーチになっていきました。その上達ぶりには本当に驚かされました。続けて頑張ったからこそその成果だったと思います。「継続こそ力なり」ですね。



[保護者の皆様・地域の皆様]

## 6年生を送る会のご案内

今年度は、7名の6年生が卒業します。その6年生に感謝の気持ちを込めて、下記の通り「6年生を送る会」を開催します。ぜひ、ご来校・ご参観ください。

日時 令和6年2月16日（金）9：30～11：10

会場 笠野小学校1F ランチルーム

内容 各学年の出し物、全校合唱、プレゼント渡し など

その他 ・お車でお越しの際は、運動場に駐車してください。

・地域の方もご参観いただけます。参観を希望される場合は、前日までに学校へご連絡ください。（288-8651）

[保護者の皆様・地域の皆様]

## 大地震への対応について（授業時・登下校時）

能登半島地震を機に、学校での地震時の対応について見直しをしました。

授業時に、激しい揺れを感じた際には、机の下などにもぐり、まずは落下物等に気をつけることは以前と変わりませんが、揺れがおさまった際には、電気が遮断されていたり、放送機器が使用できなかったりすることも想定し、その場にいた職員の判断で、一番安全であろう運動場に児童を連れて避難することとしました。（これまでは放送の指示で行動することにしていました）

登下校時については、明確な指導をしていませんでしたが、先日、以下のように児童に指導しました。

①倒れる・崩れる恐れのあるもの（建物、電柱、がけなど）から離れる。

②ランドセルなどで頭を守る。

③複数でいた場合は、集団で行動し、離れない。

④揺れがおさまったら、近くの大人に助けを求める。

ご家庭でもご指導をお願いします。地域の方におかれましては、地震で困っている児童を見かけましたら、安全の確保と学校と家庭への連絡をお願いします。（学校：288-8651）